

ヒパクシャ地球一周 証言の航海 (おるぶるプロジェクト)

「核なき世界」の実現にむけて
 世界地図・日本に本拠を置く国際NGOとして、ピースボートは世界の四方々々ともに核兵器の非人道的性を世界に訴え、活動してきました。2008年の「地球一周の旅」からこれまでに170名以上の広島・長崎の被害者の方々が乗船し、世界各地で被害者の証言を行い、核兵器廃絶のメッセージを発信しています。

ピースボートと核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)

110カ国50団体から参加する世界的なNGOの連合体。2007年の決定後、核兵器の非人道的性を訴え、2017年7月の核兵器禁止条約の採択に大きく貢献。同年ノーベル平和賞を受賞。ピースボートはICANの国際連帯活動を支えています。

地球大学

国際社会への理解を深めグローバルな視点を持つ若者たちを育てる。世界各地の現場体験と学上での学びを合わせたカリキュラムの下で、NGOや国際機関などの各分野で活躍する人材育成を目指しています。

オーシャン・ユース (海洋保護・気候変動のためのユースアンバサダープログラム)

気候変動によって深刻な影響を受けている小さな島々で、海洋保護・気候変動対策に熱心に取り組む若者たちを前に選んで行うプログラム。航海を通じて各地で気候変動対策の重要性を訴えています。

PEACE&GREEN BOAT

「平和で持続可能なアジアの未来」を具現化し、2005年から韓国・NPO「環境財団」と共同でコーディネーターを務める国際ネットワーク。日韓双方の参加者が環境地プログラムや船内生活とともに、交流しながらアジア各地をめぐります。

歴史対話と平和

1993年にピースボートがアジアへ船を出すきっかけになったのは歴史対話と平和。過去の戦争を語り、未来の平和を築くために、船場となった船場をめぐり、市民レベルでの国際対話と対話を続けています。

SDGs (持続可能な開発目標)

持続可能な世界へ国連との取り組み
 ピースボートは国連とともに持続可能な世界を実現するための取り組みを行っています。貧困や飢餓、気候変動対策を含む持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールと169のターゲットから成る持続可能な開発目標(SDGs)の達成を促し、船旅を通じて世界中にさまざまなメッセージを発信しています。

ピースボート災害支援センター(PBV)

人こそができる支援。災害ボランティア
 ピースボートは、1995年の阪神・淡路大震災以来、国内外の被災地で支援を行っています。そして東日本大震災をきっかけに、一般社団法人ピースボート災害支援センター(PBV)を設立。多数のボランティアとともに支援活動を展開しています。

ピースボートプロジェクト

「サッカーは世界をつなぎ、世界を変える」を合い言葉に、日本で使われなくなったスポーツ用品を世界中の子どもたちに届けています。サッカーを通して国境を越え、つながりを築くこと、交流の「架け橋」になることを目的に活動を行っています。

UPA国際協力プロジェクト

UPAは「United People's Alliance (人びとの連帯)」の略。国と国の利害関係に左右されない人々と人々のつながりをつくることを目的に、大規模な平和を最大限に活かして世界各地へさまざまな支援活動を行っています。

グローバルイングリッシュトレーニング(GET)

旅の時間を活用し、船上での英会話レッスンと寄港地での英語トレーニングを行う体験型海上英会話プログラム。世界的に20ヵ国をめぐり英語というユニークな共通言語を軸に、「グローバル・イングリッシュ」を学びます。

地雷廃絶キャンペーン(P-MAC)

毎年最も危険な地雷、今も世界中で多くの人が亡く被害にあっている地雷。カンボジアやアフガニスタンなどの地雷被害国で地雷撤去を行っている政府機関やNGOとともに、地雷活動や被害者の社会復帰を支援しています。

GPPAC (東アジア平和構築のためのグローバルパートナーシップ)

国際的な平和構築ネットワークであるGPPACは、計15の地域で平和構築のための経験形成や政策実証などをしています。ピースボートは設立当初から参加し、東アジア地域ネットワークの事務局を2010年に引き継ぎました。

「平和で持続可能なアジアの未来」を具現化し、2005年から韓国・NPO「環境財団」と共同でコーディネーターを務める国際ネットワーク。日韓双方の参加者が環境地プログラムや船内生活とともに、交流しながらアジア各地をめぐります。

Our History ピースボートのあゆみ

地球を旅する ピースボート

Voyage of PEACE BOAT

Voyage of PEACE BOAT

地球を旅するピースボート

2015

パリ(フランス)

COP21に出席

パリで開催された「国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)」にて「エコシッププロジェクト」を紹介。



2022

ウクライナ

ウクライナ人道支援を開始

ピースボートの国際的ネットワークを通じてピースボート災害支援センター(PBVC)が人道支援を開始。ルーマニア等に拠点を置くNGOらと協働し支援に取り組む。



2004

ケニア

植林活動「グリーンベルト運動」に協力
ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんが立ち上げたケニアの「グリーンベルト運動」と協力し、ケニア首都ナイロビに植林活動を行った。



2017

オスロ(ノルウェー)

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)がノーベル平和賞を受賞

同年7月に国連で採択された核兵器禁止条約成立に大きく貢献してきたICANがノーベル平和賞を受賞。ピースボートは国際連帯団体を募っている。



2012

パシフィコ横浜

「脱原発世界会議」を開催

福島第一原発事故を受け、福島の実情を学び、原子力に頼らない社会をつくることを理念に開催。世界約30カ国から1万人以上が参加した。



1995

阪神・淡路

阪神・淡路大震災ボランティア活動

神戸市東灘区を中心に1,000名以上のボランティアとともに活動。



1980年代

アジアクルーズを実施

「過去の戦争を捉え、未来の平和をつくる」をスローガンに、アジア地域で毎年2週間から3週間の国際交流の船旅を行う。

2005

ニューヨーク(米国)

GPPAC世界会議に参加

国連本部で開催された、紛争予防や平和構築のための具体的なアクション、政策提言を目的に設立された世界的なNGOネットワーク「GPPAC」。ピースボートは東北アジア地域事務局を担当している。
GPPAC = 武力紛争予防のためのグローバルパートナーシップ



2019

ニューヨーク(米国)

海洋環境を考える「世界海洋デー」に合わせ船上で国連公式イベントを開催
ニューヨーク滞在中の船上にて、国連や地域の市民団体と連携しイベントを開催。国連の各国政府代表団を含む500人以上が参加した。



2008

幕張メッセ

「9条世界会議」を開催

戦争を放棄し、軍備を持たないという国連を世界の人がと広めようと3日間にわたるイベントを開催し、約6万人が参加。



2005

ベトナム

枯葉剤被害者支援を開始

ベトナム戦争中に使われた枯葉剤によって健康被害を受けた人びとのために、基金などを立てて支援を行う。

2007

ガラパゴス(エクアドル)

ガラパゴスの森再生プロジェクトを開始

現地の「チャールズ・ダーウィン財団」と共同でガラパゴスの固有種「スカシヤ」の復元を行っている。



2007

ベネズエラ

ベネズエラ音楽教育「エル・システマ」との共同キャンペーンを開始

楽器支援とともに、オーケストラメンバーをクルーズに招き、世界各地でコンサートを行っている。



2014

ブラジル

「ストリートチルドレンにサッカー場を」キャンペーンを実施

ブラジルW杯に合わせ社会活動を行いサッカー場を建設。サッカーの伝説の影で、ボールを買い取ることができない子どもがいるという現状を伝えた。



2023

東ティモール沖

クルーズ中に金環日食を観測

太陽が完全に月に隠れる「皆既日食」と、太陽が環状のような光の輪に見える「金環日食」が、一度の日食の間に観測される珍しい天体現象を岸上で観測した。クルーズを通して地球の神秘に触れる機会も。



2016

カンボジア

「カンボジア王国友好勲章」を受章

これまでのP-MAC(地雷廃絶キャンペーン)の活動が評価され、カンボジア王室から勲章を受賞。これまでに154万㎡以上の土地の地雷除去を支援している。



2005

ファルージャ(イラク)

イラク・ファルージャ病院に車イス100台を送る

2003年から続いたイラク戦争の影響にあった病院へ、支援物資として集めた車椅子を船で輸送し届けた。

